

「貫志」～最後の最後まで～

宇佐高 進路だより

No. 5 平成30年 9月6日 発行元：宇佐高等学校進路指導班



☆2学期が始まって2週間以上が過ぎましたが、まだ夏休み気分の人はいませんか？

「自分に克つ」とはどういうことか？と考えたことはありますか。今回はこのことについて少し考えて欲しいのです。夏休みは決して長くはありませんでしたが、それでも様々なことに取り組んだことでしょう。その中の一つに“読書感想文”がありました。(3年生Iコースを除く)

ところが、この読書感想文に関して先生方からあまりよい情報が耳に入ってきません。つまり「未提出の者が多い」とか「内容的に稚拙なものが多い」とかいう声を多く耳にしました。このことはどういうことを意味しているのでしょうか？一言で言えば、読書感想文に真剣に取り組んだ者が少ないということです。ではなぜそういうことになるのでしょうか？私は『させられてる感』のせいだと思います。要は自分としてはあまりやりたくないことをさせられていると思っている生徒が多いのではないのでしょうか。でも、よく考えて欲しいのです。意味のないことを学校側が生徒に課題として与えるようなことは絶対にしません。読書感想文には課題として与えるに十分な意味があるから課しているのです。その意味をここで述べると、それだけでこの紙面の全体を埋め尽くすことになるので、ここでは省略します。

読書感想文に限りません。夏休みの課題、日頃の課題は相当な意味があって課しています。私たち教員はそのすべての意味を生徒の皆さんに伝え切れていない部分があることは事実です。本当はその一つひとつについて意味を伝えるべきですが、時間的な制約もあって無理な場合も多いのです。ですから生徒の皆さんにお願いしたいのは何か課題が出されたとき、その課題をやる意味を是非考えて欲しいのです。考えても意味を見いだせないことがあったときは、先生に聞いてください。意味を考え、それが見いだせた人は『させられてる感』が払拭でき、「こういう意味があるのだからしっかりやろう！」という気持ちになるのではないのでしょうか。もう一度いいます。意味のない課題を与えることは決してありません。

「自分に克つ」とは「何か物事を行うとき、その物事に意味を見だし、諦めずに最後までやり遂げる」と定義したとしましょう。皆さんはこの夏、自分に克つことができたでしょうか？読書感想文や各教科の課題などを遅れて提出した人は、これから先に一つひとつの課題について、それをやる意味を是非考えてみてください。意味を見いだせれば、やる気も起きて自分に克つことができるのではないのでしょうか。2学期は特に行事が多いですが、この行事に関しても同じことが言えます。茜祭が近づいています。こういった行事に関しても、それを行う意味を考えてみてください。そうすることで今よりももっと積極的な姿勢で各行事に参加できるでしょう。課題、行事、その他、何に関しても自分に克ち続けてください。期待しています。

☆体調管理は大丈夫でしょうか？体調は学校生活の全てのことに影響を与えます。

まだ多少暑い日もありますが、朝・夜は少ししのぎやすくなりました。今年の夏は特に暑かったですね。体調は大丈夫でしょうか？体調については自分自身で管理する以外に方法はありません。自己管理に努めてください！～以下を参考に～

1. 規則正しい生活をし、疲れをためない。
 - ・睡眠時間を確保する。→午前0時には寝られるように課題(予習・復習を含む)の開始時間を早める(学校内のちょっとした隙間時間を有効活用する)。
 - ・夜遅くのLINE等のやり取りに注意(9時以降は控えよう)！
2. バランスの良い食事(特に朝食)をしっかり摂る。
3. 甘い飲み物を大量に飲まない。スポーツドリンクの飲み過ぎにも注意。
4. 休日に無理をしない。(精神的疲れや肉体的疲れをとる)＊適度な運動は可

☆2学期は進路に関して非常に重要な学期です。各学年ごとに見てみましょう！

《1年生》茜祭が終わると文系・理系の選択が本格化します。9月19日(水)の午後に学年PTAがあります。その時に説明がありますが、文理選択は1年生にとって非常に重要な進路に関する決定です。系の選択によって受験できない学部・学科(4年制大学)もありますので注意をしてください。後悔のない選択にするためにも保護者やHR担任ともよく相談してください。

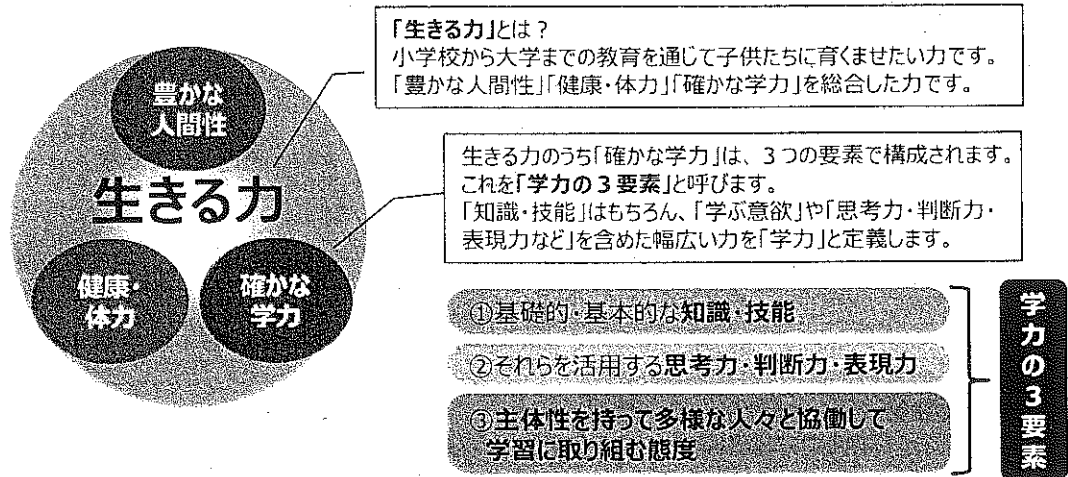
《2年生》2学期は茜祭、修学旅行と大きな行事があります。その一方、3年次のコース選択をする時期でもあります。Iコース・IIコースは3年次の進路決定(進学・就職)に直結する選択になります。9月20日(木)の午後に学年PTAがあります。その時に説明がありますが、ご家庭でも十分な話し合いをお願いします。2年生は中堅学年として宇佐高校を牽引する学年であるとともに、3年生になる準備をしていかなければなりません。時間を有効に使って欲しいと思います。

《3年生》いよいよ進路決定の時を迎えます。精神的にも肉体的にも苦しい状況が続くと思いますが、体調管理に注意して乗り越えて欲しいです。センター試験に関しては9月4日(火)に出願者集会を行い、現在は出願の準備段階です。就職・公務員関係は9月中旬から試験がスタートします。大学・短大・専門学校を目指す者は9月・10月・11月にAO入試や推薦入試を受ける場合もあるでしょう。ここで大切なことはAO入試や推薦入試では合格する保証はないということをお覚しておくことです。つまり、最終的には一般入試で合格するためにしっかり学力をつけていく必要があるということです。もう一つ大切なことは、周りの生徒達が合格していく状況(自分自身はまだ合格していない状況)になったとき、焦らずにしっかり前を見つめて学習を継続する精神力を持つことです。頑張ってください！

※裏面は入試改革に関わる資料(河合塾提供)です。ご覧ください。

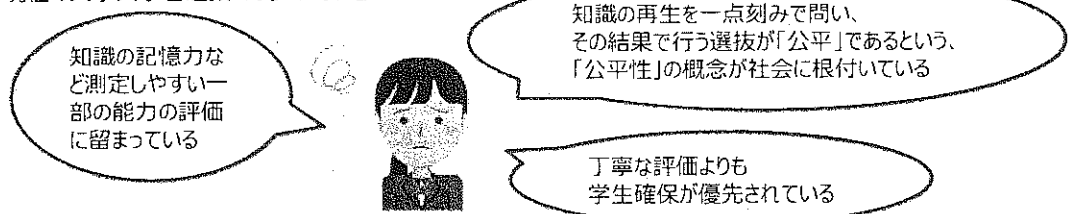
2021年度入試から大学入試が変わります

文部科学省は「大学教育改革」と「高校教育改革」、両者をつなぐ「大学入学者選抜改革」の3つの改革を進めています。変化の激しいこれからの社会で自立して活動していくために必要な力＝「生きる力」をバランスよく育むことがねらいです。



なぜ？ 大学入学者選抜改革のねらい

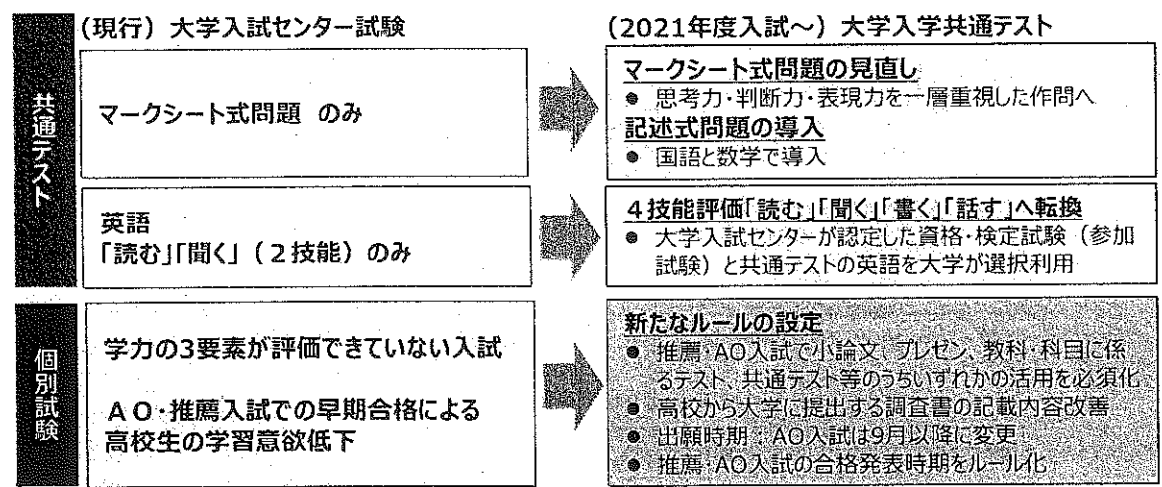
現在の大学入学者選抜には多くの課題があります。



そこで改革により、それらの課題を解消しようとしているのです。

大学入学者選抜改革のポイント

- 「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する入試に転換
- 大学入試センター試験を廃止し、大学入学共通テストを導入
- 個別試験 実施ルールの見直し



個別試験のルール見直し

共通テストが導入される2020年度(2021年度入試)から、大学入試のルールブックともいえる「大学入学者選抜実施要項」も見直されます。これにより、各大学の入試についても変わります。

個別試験から入試区分へ

高校教育への影響を考慮する観点から、出願・実施・合格発表時期についての基準を変えたうえで、各入試区分の特徴に応じて「学力の3要素」を多面的・総合的に評価できるように評価方法を見直します。

一般入試	AO入試	推薦入試
一般選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜
試験期日 2/1～3/25 合格発表時期 3/31まで	出願 9月以降 合格発表時期 11月以降	出願 11月以降 合格発表時期 12月以降
①教科・科目に係るテストの出題科目の見直し ②国語を中心とした記述式の導入・充実など作問の改善 ③英語4技能評価の導入 ④調査書や志願者本人の記載する資料を積極的に活用 →詳細な書類審査と丁寧な面接による評価の充実 調査書等の活用については募集要項等に明記	●「知識・技能の修得状況に過度に重点を置いた選抜基準としない」という記載を削除 ●志願者本人の記載する資料を積極的に活用 →詳細な書類審査と丁寧な面接による評価の充実 ●各大学が実施する評価方法(小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に係るテスト、資格・認定試験の成績など)又は大学入学共通テストの活用を必須化	●「原則として学力検査を免除」という記載を削除 ●推薦書の中で学力の3要素の評価を必須化
①～③は総合型選抜・学校推薦型選抜でも推奨		

※文部科学省資料「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」より

個別試験から調査書や推薦書へ

出願の際に高校から大学に提出する調査書、推薦書に記載する内容が変わります。入学者選抜において、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、一人ひとりが積み上げてきた大学入学前の学習や多様な活動等に関する評価を充実させることが狙いです。また、志願者本人が記載する資料の入試への活用もすすめられます。

- 調査書
「指導上参考となる諸事項」が6項目に分割され、それぞれについて記載が必要に。
①各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等 ②行動の特徴、特技等
③部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 ④取得資格・検定 ⑤表彰・顕彰等の記録 ⑥その他
- 推薦書
長所だけでなく、『学習・活動の成果を踏まえた「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」(学力の3要素)に関する評価』『生徒の努力を要する点』などを記載
- 志願者本人の記載する資料
 - ①活動報告書
・「総合的な学習の時間」等において取り組んだ課題研究等
・学校の内外で意欲的に取り組んだ活動(生徒会活動、部活動、ボランティア活動、資格・検定、各種大会・コンクール、留学・海外経験等)
 - ②大学入学希望理由書や学修計画書
・各大学が、学部等の教育内容を踏まえ、入学希望理由や学びたい内容・計画、卒業後を見据えた目標等を記載させる

※文部科学省資料「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」より